

私の仕事（若手社員レポート）

グローバル設計株式会社／営業部 菊地直人



1. はじめに

私は北海道の札幌市で生まれ、ご縁をいただき平成27年に地元企業のグローバル設計（株）に入社いたしました。当初は総務部として採用され、水コンサルタントの仕事を一から学ぶことからの始まりでした。水コンサルタントとは、水道事業の計画・設計・運営を専門的に支援することです。その仕事を間近で感じ、数年後には総務から営業に部署異動をし、本格的に業務に携わることになります。そんな私も、令和7年で10年目となりました。入社当時は、右も左もわからないまま、専門用語が飛び交う場に正直戸惑いましたが、一つ一つを学び経験していくうちに自信に繋がっていき、やりがいを感じられていくようになりました。

今回は、学生向けに「私の仕事」を紹介と聞きました。このお話しをいただいた時に、10年目にして何かの縁を感じ、皆様には私が経験した業務や活動を振り返りながら、水について少しですが営業目線で紹介したいと思います。拙い文章ではありますが、最後までお付き合い頂ければ幸いです。

2. 私の仕事

（1）水の営業

水コンサルタントの営業は、自治体や水道局などの公共機関を訪問し、信頼関係を築くことからはじまります。技術だけではなく、人との信頼関係も大切な要素の一つです。訪問時の何気ない会話でも、お客様が抱えている問題が見えてくる時もあります。

様々な問題に対して、社内の技術部門と解決策を提案することも営業の仕事のひとつです。技術部門と同行の上、お客様へ立案した提案内容を説明し、ご納得いただけた時には、大きなやりがいを感じることができます。地域ごとに違う様々な問題をチーム全体で解決まで導く仕事になります。営業職は、お客様と会社をつなぐ橋渡し役にもなるのです。

面積の広い北海道では、営業ルートは必然的に長距離になる場合が多いのが特徴です。移動手段は主に車です。車の運転が好きな私にとっては、長距離であっても苦に

なりませんでした。当時は、顔を覚えてもらうことからのスタート。ひたすら営業回りで運転していた記憶があります。営業といえば、物を売る仕事のイメージが強いかもしれません。ですが、私たちが取り扱うのは、形のある商品ではなく「水道事業のこれから」を見据えたマネジメントになります。営業とは、お客様に安心感と方向性を届ける役割もあるものだと私は思っております。

（2）現地調査・委託設計図書の積算

営業の仕事は外回りだけではありません。時には、技術部門と一緒に現地に赴くこともあります。公示された委託設計図書の内容や現地状況を確認するためです。机上にいるだけでは見えてこないものを現地に行って調査します。普段はスーツ姿が基本ですが、現地調査になると本格的に作業着で作業を始めます。こちらの写真は図面との整合性を確認するため、同行者と連携を取りながら現地作業を行っている様子です。技術の者と意見交換しながらの作業は大切な時間です。雪が降り始める前だったので、肌寒かった記憶があります。

委託設計図書の積算では、水コン歩掛積算基準を活用しながら、現場資料や設計資料をもとに、より精度の高い見積書の作成に日々努めています。



写真-1 現地調査

（3）道内や道外への出張

基本的には道内の出張が多いです。営業で行くことも

ありますし、打合せや調査で行くこともあります。出張は体力的にハードなこともありますが、現場でしか得られない発見があります。宿泊の場合は、宿泊先で資料をまとめ英気を養います。温泉宿だったり、特産品を食べたり、普段と比べると見るもの感じるものが新鮮であり、それが出張の楽しみでもあります。

そんな中、令和6年には日本水道協会による全国会議が神戸市で開催され、参加いたしました。市の関連施設の視察や、水道に関する様々な研究発表等が行われ、年に一度のこの会議では全国から水道の関係者が集います。また100社以上の関連企業が、最新技術の紹介や新製品・サービスに関するブースを出展し、参加関係者にとっては業界の最新情報の収集や知識を広げができる絶好の場となります。マッピングシステムの説明や、漏水箇所を人工衛星で調査する技術を詳しく説明していた企業もあります。施設の情報や管路の漏水は、お客様からよく相談される事柄なので、どれもこれもが聞き応えのある内容でした。もちろん開催場所が神戸市ですから、美味しいものを食べることや飲むことも忘れてはいません。神戸市では、あの有名なお肉を堪能し、お酒と共に楽しみました。話が脱線しそうなので、お酒の話は「ひとまず」ここではひと区切りにします。



写真-2 全国会議（神戸市）

3. 趣味について

ここでは趣向を変えて、私の趣味についてご紹介したいと思います。最初に、私は水道の仕事をはじめて10年目になると紹介しましたが、その間に私生活では結婚、そして子供の誕生と、目まぐるしく環境の変化がありました。大変ではありますが、充実した日々を過ごしています。休日は家族と一緒に過ごし、子供と一緒に学び、遊ぶことで私自身も頭の切り替えにもなっていると思います。この写真は、家族と一緒に水族館に行った一枚です。テレビや本の中ではわからなかった魚や動物を見て子供は興味津々の様子。子供の成長に日々驚きながら、理想

の父親像に向けて公私共に私も成長していきたいと思っております。

個人的な趣味としましては居酒屋巡りです。普段家ではお酒は飲まないのですが、居酒屋の雰囲気がとても大好きでよく利用させてもらっています。一人では飲みに行きませんが、職場の人だったり友人だったり、コミュニケーションの場としてもいつも役に立たせてもらっています。話の中身は主に仕事の話だったり相談だったりととても有意義に活用しております（笑）今は日本酒にもはまっていまして、調子の良い時はそちらにも手を伸ばしてしまい、前述の父親像が失敗したことは何度もあります・・・。



写真-3 家族で水族館へ

4. おわりに

「水」は生活に必要不可欠なものです。人の生活を根底から支える大切な役割を担っています。災害の経験から、水の大切さを改めて感じた人もいたのではないでしょうか。

しかしながら、これから水道は様々な問題に直面しています。水道管や施設の多くが耐用年数を超えて、老朽化しています。それによって破裂や漏水が増加の一途をたどっているのが現状です。日本では、人口減少により直結する水道料金の収入が減ってしまい、管路や施設の更新・維持が困難になっているケースも少なくありません。また、PFASによる水質への影響、水道の技術者不足といった様々な問題があるのも事実です。ですが、必要不可欠なライフラインである水のために、自分にできることを少しでも努力していきたいと思っています。

ちょっとでも水の仕事に興味がわいた方は、その好奇心がこれから安全で豊かな暮らしを支える力になると思います。是非とも、水コンサルタントの世界へ飛び込んでみてはいかがでしょうか。きっと、私たちの仕事の大切さを感じてもらえるはずです。

私の仕事（若手社員レポート）

都市開発設計株式会社／技術部／技師 小栗玲香



1. はじめに

私は、群馬県に生まれ、高校では土木科で学び、卒業後は都市開発設計株式会社に入社いたしました。先輩や上司にご指導頂きながら経験を積み、今年で4年目になります。入社してからは、主に上水道の設計業務に従事し、業務内容としては、水道管の新設及び布設替え設計業務、上水道管基本設計等をおこなっております。

入社してからの私の仕事を紹介します。

2. 私の仕事

(1) 入社1年目

私が入社して、最初に担当した業務は、上水道施設の台帳作成業務でした。台帳は施設の現状を正確に記録し、維持管理や将来の更新計画に役立てるための重要な資料です。初めての業務であり、専門的な知識や細かな確認作業が求められるため、最初は戸惑いもありました。現場調査では、配水池やポンプ場など多様な施設を訪れ、設備の規模や配置をひとつひとつ確認しました。図面や既存資料と照らし合わせながら、誤りがないように記録を整理する作業は大変でしたが、同時に「水道事業は地域の生活を支える基盤である」という責任感を強く感じる時間もありました。業務を進める中で、数字や名称だけでなく、施設の特徴や注意点も簡潔にまとめるよう心がけました。台帳作成業務で得た知識は、今後の業務を取り組む上で大切だと感じました。



写真-1 水源地

(2) 入社2年目

入社2年目は、上水道の配水管布設替設計業務を担当しました。老朽化した管路を新しいものへ更新する設計は、地域の安全・安心な水供給を守るために欠かせない仕事です。1年目に経験した施設台帳作成で得た知識をもとに、より実務的で責任の大きい業務に挑戦することとなりました。

設計業務では、現場の状況や既存管路の配置を把握し、施工性や経済性に配慮しながら新しい管路のルートを検討しました。道路幅員や交通規制、他の埋設物との位置関係など、考慮すべき条件は多岐にわたり、単純な置き換えでは済まないことを実感しました。図面作成や数量計算を進める中で、細部まで正確さが求められると同時に、全体を見渡す視点も必要であることを学びました。また、施工時の安全性や住民への影響を最小限に抑えるための工夫を取り入れることで、設計図面が「使えるもの」として活かされることを実感しました。入社2年目で責任ある業務を任せられたことは大きな挑戦でしたが、周りの方々に助けてもらいながら良い経験ができた業務でした。

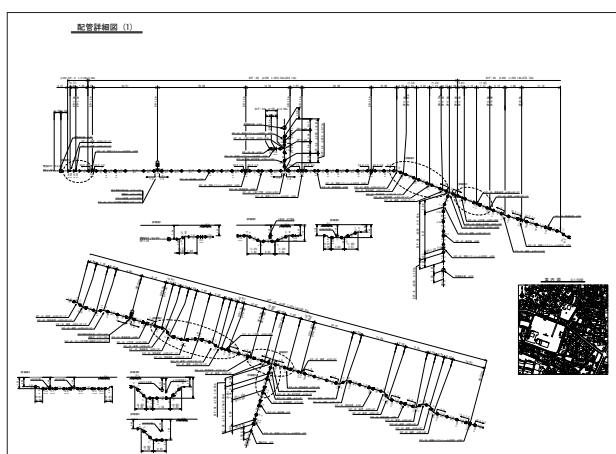


図-1 配管詳細図

(3) 入社3年目

入社3年目も同様に配水管布設替設計業務を担当しました。2年目で学んだ知識や経験を活かしつつ、業務を遂行しました。

また、3年目になり後輩の指導も任されるようになり、自分が学んできた知識や工夫を伝える立場になり、大きな変化を感じました。設計図面のチェックや数量計算書の作成、作業手順の説明を通じて、改めて自分の理解を深めることができ、責任と同時にやりがいを感じました。

さらに、実業務とは別に母校の高校説明会で上水道設計の業務内容等の説明を行う機会をいただきました。もともと人前で発表することは得意ではなく、当初は緊張や不安を強く感じていました。分かりやすく伝えられるだろうか、聞き手に興味を持ってもらえるだろうかと悩みながら準備を進めました。実際の説明会では、練習した通りに落ち着いて出来ました。

また、母校での説明会だったため当時の担任の先生や土木科の先生ともお話を出来てよい機会でした。



写真-2 高校説明会の発表時

(4) 入社4年目

入社4年目は、上水道の配水管改良工事に伴う基本設計業務を担当しました。基本設計業務は行ったことがなかったため、任せられた当初は「自分に務まるだろか」という不安を強く感じました。基本設計業務では、現地踏査・資料収集から行い、工法検討、平面計画、施工計画、概算工事費の算出等を行い、詳細設計を行うための基礎となる業務となります。自分の作成した案が次の詳細設計に引き継がれていくことを考えると、責任の大きさを実感すると同時に、業務を通じて基本設計業務段階での意思決定の重みを学ぶことができました。

3. 私の趣味

私の仕事を頑張るための趣味について少しご紹介します。

私は旅行を楽しみに日々の仕事を頑張っています。旅先でおいしいご飯を食べたり、温泉に入って日頃のリフレッシュすることが大好きです。



写真-3 北海道旅行で食べたご飯

また、初心者ながら挑戦しているのがスノーボードです。日々の生活では体を動かすことがそんなにないため毎回筋肉痛になりますが、真っ白な地面を滑っているときは気持ちが穏やかになるため冬になると友達とスノーボードに行ってリフレッシュしています。



写真-4 スキー場

4. おわりに

入社して4年目になりますが、様々な経験をさせていただきました。

本稿を執筆する中で私の仕事を振り返ると、入社当時と比べれば着実に成長しているように感じました。まだまだ知識や経験が足りませんが、ひとつひとつの業務を勉強しながら一人前の技術者となれるように努力していきたいと考えています。挑戦を恐れず、一歩ずつ前進しながら、自分自身の可能性を広げていきたいです。